

# 日本大学通信教育部校友会 第49回定期総会 議案



令和2年5月23日(土)

# 日本大学通信教育部校友会

## 第49回定期総会 議案一覧

- 第1号議案 各部報告 令和元年度総務部活動報告  
令和元年度組織部活動報告  
令和元年度広報部活動報告  
令和元年度財務部活動報告  
令和元年度渉外部活動報告
- 第2号議案 令和元年度事業報告
- 第3号議案 令和元年度決算報告  
令和元年度監査報告
- 第4号議案 役員候補者選考報告
- 第5号議案 令和2年度事業計画（案）
- 第6号議案 令和2年度予算（案）
- 第7号議案 その他 大学院総合社会情報研究科（通信制大学院）の  
通信教育部への編入に伴う会則改正（案）

以上

令和2年5月23日

令和元年度総務部活動報告

総務部長 肱岡堅一

1 総務委員会開催

第1回 令和1年12月19日 ホームカミングデー、学生支援等について話し合った。

第2回 令和2年3月3日 規約改正及び令和元年度の活動を振り返って、並びに次年度の取り組みについて話し合った。

2 ホームカミングデー

令和1年11月3日(日) 時間 16:00~18:00

日本大学桜門会館 4階 桜ホール

大学、校友、学生が参加し開催された。

3 通信教育部 集夏祭(参考)

(1) 市ヶ谷キャンパス

日時 11月3日(日) 時間 10:00~16:00

お笑いライブ、ビンゴ大会、先生方と座談会、飲食等実施された。

4 その他

(1) 新年会 通信教育部校友会新年会 令和2年1月18日 開催

(2) 通信教育部校友会 三役会 常任役員会は下記の日程で開催された。

(ア) 三役会 第1回 令和1年5月25日

第2回 令和2年1月18日

(2) 常任役員会 第1回 平成31年4月19日

第2回 令和1年6月21日

第3回 令和1年9月20日

第4回 令和1年11月15日

第5回 令和2年1月10日

2020年 5月23日

## 令和元年度組織部活動報告

組織部長 鎌子 健

## 1. 支部運用マニュアルの配布

四国ブロック&東北ブロックから「支部運用マニュアル」の送付依頼があった。よってブロック内各県支部長又は責任者宛てに「支部運用マニュアル」一式を本部事務局から送付。

## 2. 宮城県支部解散後の対応

- ・2019年6月の常任役員会で宮城県支部解散の話を聞いた。
- ・2019年1月1日付の会報「94号」に宮城県支部（登米交流会）のタイトルで校友だよりが記事として掲載されていたのでびっくりした。
- ・再開できないか関係者にそれぞれ確認したが、解散は数年前から決めていたことなので、解散の意志は固く現行メンバーでの再開はないとの返事であった。
- ・今後の対応は、現行メンバー以外の新メンバーに参加を募り再興をできるよう東北ブロック長はじめ東北ブロック各支部の皆様の協力を仰ぎながら検討並びに対応していきたい。

## 3. 今後の組織体制の在り方

◆今年1月10日の常任役員会、1月18日の三役会に素案を議題として検討させて頂きました。

1) 最近の活動状況 → ここ数年、校友会支部活動の休眠状態が目立つようになっている。

支部の活動比率は、全60支部中 活動は38支部、休眠支部22、支部活動比率63%

## 2) 主な問題点

- ・対象学生、卒業生の減少 ・校友会参加者の減少 ・支部役員の高齢化
- ・士気の低下 ・参加者の固定化・高齢化 ・支部役員の後任が見つからない
- ・校友会活動に魅力がない ・校友会のPR不足 ・会報の郵送作業が大変 など

## 3) 主な対策

- ・活動に協力できる人探し ・若い方にアピールする ・各支部での努力が必要
- ・新年会/忘年会だけでなくハイキング・史跡巡り・講演等を行う
- ・活動維持のため他県との集約化など支部再編が必要 ・支部運用のマニュアル作り
- ・「つて」「機会」などを見つけ根気強く努力する ・参加してよかったと思える会合検討
- ・支部総会に本部役員の出席 ・支部総会の補助費増額 ・やる気 など

## 4) 現状

- ・本部・支部の関係者は、共にできる範囲で本部・支部活性化の努力を行っていると思いますが、中々目に見える結果が出せなく休眠支部の増加に至っています。
- ・例えば、製品のライフサイクルで言うならば、①導入期→②成長期→③成熟期→④衰退期の4段階があります。組織のライフサイクルも同様に①～④の4段階があります。我が通信教育部校友会も創設以来、今年(2020年)ですでに48年目(約半世紀)を迎えようとしています。おそらく、③から④に差し掛かっているか、④に入っていると思われ、関係者の方々が普段の活動で色々苦しんでいるものと考えられます。

5) 今後の考え方 (提案) ← 下記内容について各ブロック各支部でご検討頂きたいと存じます。

前提：日本大学通信教育部校友会活動を存続させる事とする。

<p>《1案》：現状維持</p> <p>多少問題はあるが、現行組織は歴史があるので対策を強化しながら今の組織を維持する。</p>
<p>《2案》：ブロック内の各都道府県(北海道は支局)の一部合併</p> <p>対応：休眠支部救済の観点から、ブロック内の各都道府県(北海道は支局：以下同様)の合併を、所轄のブロック長を含め各支部間での話し合いにより検討する。</p> <p>狙い：アクティブな各都道府県が中心になり、近隣のやむを得ず休眠している支部を合併することで、休眠支部校友メンバーの参加できるネットワークを再構築し、校友会活性化の底上げを図る。(被合併支部内からも役員として参画してもらうことが望ましい) 又、今までの各都道府県の支部活動の拡張版であるので 再度、活動の経験を積み独立支部として分離することもやりやすくなる。</p> <p>→ 但し、もろもろの活動の開催場所を都度考慮することで休眠支部であったエリアの方々が参加しやすい環境も配慮することが望ましい。</p>
<p>《3案》：現行各ブロックをそれぞれ一つの支部とする考え方 (呼称は今後検討)</p> <p>対応：校友の過疎化に備え、現行のブロック自体を一つの支部と捉える考えで、ブロック内のアクティブな現行支部が主体となり同ブロック内の従となる県の方々の役員の参画も得ながら、具体的な運用を行う。</p> <p>狙い：上記《2案》の更なる拡張版に加え、各個人の同意を得ることを前提に、通信教育部校友会に加入される大学院卒業の皆様も同じレベルで管理できる利点がある。</p> <p>→ 《2案》と同様ブロック内各校友の利便性を図るため、活動する開催場所を考慮することで従となるエリアの校友の方々が参加しやすい環境も配慮することが望ましい。</p> <p><b>懸念事項</b>：支部としてのエリアを広範囲に拡張すると、主となるエリアの各役員は仕事量が増える傾向になり、従となるエリアの役員は主となるエリアの役員にお任せ的な傾向が出てくると思われる。従って、そうならないような配慮をしながら和をもって活動できるようにすることがリーダーに求められる。</p>
<p>《4案》：現行9ブロックを更に集約して、4~5ブロックに分け支部とする考え方 (呼称は今後検討)</p> <p>現行ブロックを更に4~5ブロックに集約し一つの支部と捉える。内容的には《3案》と同じ。</p>

◆上記《1案》～《4案》までの中で、どの案が今後の日本大学通信教育部校友会の組織としてベストに近いかを選択して頂きたい。又、その他の案や、ご意見、ご提案などお聞かせ頂きたい。

◆今後のスケジュール (今回提案～来年決議まで)

2020年5月23日 総会に「今後1年かけて各関係者間で検討して頂きたい」ことを提案。

2020年5月～ } 関係ブロック、関係支部各位のご意見等をお聞きし、意見交換を図りながら、  
2021年3月 } 常任役員会、三役会で検討を進め総会に提案する最終議案をまとめる。

2021年5月 総会に最終議案を提案し決議して頂く。

以上

令和2年5月23日

## 令和元年度広報部活動報告

広報部長 師田 袈裟茂

会則による広報部の活動報告（細則第1章 専門部第1条の3）

## 1 会報発行

会報発行 年2回（新年号1/1付、総会号7/1付）

		第96号(2/1/1) 新年号	第95号(1/7/1) 総会号
配布先	各支部（※新卒生含む）	4,427	4,655
	準会員スクーリング時閲覧用	200	200
	校友会正会員（※通信教育部校友会所属） <sup>(注)</sup>	14	12
	活動休止支部卒業生（※卒業後2年間送付）	46	24
	通信教育部・校友会本部・他学部校友会	137	137
合計		4,824	5,028

(注) 但し、本会の各支部には所属していない者。

	第96号(2/1/1) 新年号	第95号(1/7/1) 総会号
会報発行総部数	4,900	5,200
会報印刷費	329,010 (※PDFデータ代を含む)	333,720 (※同右)
協賛広告数（1口10,000円）	20件 210,000	23件 240,000

## 2 会員名簿の作成

各支部は新卒生に連絡し、支部の活性化をはかる。※新卒生への2年間の会報発送を支部に依頼。

## 3 準会員への会報配布

学生ホール（通信教育部1号館1階ロビー）に会報を設置し、スクーリング時に学生の閲覧に供する。

## 4 情報・速報を事務局に依頼

① ホームページ内に会報最新号を掲載し、活動休止部会員及び関係者の閲覧に供する。

通信教育部校友会ホームページ <http://www.nudld-koyukai.sakura.ne.jp/wp/>

② 会報掲載用の原稿・写真等の投稿用メールアドレスの公開。

原稿投稿用メールアドレス [kaihou@nudld-koyukai.com](mailto:kaihou@nudld-koyukai.com)

③ 会報送付先の住所変更、送付停止要請などを事務局に報告。

## 5 会報掲載事項等

① 支部会報の特色ある掲載記事について、承諾を得て会報に転載。

② 叙勲・表彰者のお知らせ、本部及び各ブロック・支部の訃報の掲載。

③ 準会員（在学生）の投稿依頼により掲載（通信教育部の承諾が必要）。

④ 各ブロック・支部の総会報告の掲載。

⑤ 名刺広告の掲載。

〈緊急報告〉 会報第97号の編集につきましては、現在、新型コロナウイルス感染拡大への対応のため

め、本会事務局での作業が制限されている影響により、例年のスケジュール通りには進捗しておりません。そのため、当該号の発行日につきましても、例年と同じく7月1日に発行することは困難な見込みです。新型コロナをめぐる状況次第とはなりますが、当該号の発行に関しましては、適当な時期まで延期とさせていただきます。各位にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和2年5月23日

令和元年度財務部活動報告

財務部長 山本 良吉

【1】財務基盤の確立

1) 役員年会費の回収

通信教育部校友会の本部役員の皆様に対して年会費の納入をお願いするとともに、未納金については納付期限までにできるだけ回収するよう努める（令和2年度予算における計上額120万円）。未納者には適宜、納付していただくようお願いする。

【2】その他の財務に関する検討事項

1) 日本大学校友会正会員還付金の増加策

日本大学校友会（本部）の正会員のうち、通信教育部の卒業生については、所属の支部・部会を「通信教育部校友会」とご登録いただくようお願いする。この措置により、校友会本部からの正会員還付金の増額を図る（令和2年度予算における計上額42万円）。

具体的な登録手続きについては、日本大学校友会の正会員費の払込書用紙の規定の欄に「通信教育部」とご記入いただくことにより、通信教育部校友会への所属を継続していただく。

たとえば、通信教育部において法・文理・経済・商の各学部を卒業したために、上記の払込書用紙の規定の欄に、それぞれ「法学部」「文理学部」「経済学部」「商学部」と記入した場合は、各学部校友会に還付金が配分されることになるので、これらの点について十分に注意喚起を行いながら、日本大学校友会正会員の入会促進に努める。

また、組織部とも協力して該当者の発掘に努める。

2) 役員年会費収入の減少を受けての収入増加策

年会費収入の減少に対して、本会の活動費の支出内容を精査し、経費の節約・減額を検討する。また、各会員や各支部・各ブロックなどに対して、会報への広告掲載を積極的に働きかけるなど、収入の増加を図っていく。



令和2年5月23日

渉外部長 江崎 泰元

## 令和元年度渉外部活動報告

- 1 各ブロック会との情報交換  
会長・副会長が各ブロック総会に参加し、各支部のかかえる諸問題や情報について意見交換をおこなった。
  
- 2 校友会学部別部会との交流  
他学部の校友会総会に参加し、親睦を図り、連携強化につとめている。
  
- 3 通信教育部執行部との情報交換  
通信教育部学部長・事務局長をはじめ執行部との情報交換を行なった。
  
- 4 校友との連携強化  
ホームカミングデーを実施し、親睦を図った。

以上

日本大学通信教育部校友会  
令和元年度 事業経過報告

第2号議案

年月日	行事	出席者	場所
令和元年			
4月 8日	入学式		
	19日 第1回常任役員会	鈴木会長はじめ12名出席	通信教育部1号館
	20日 監査	監査3名・会計2名含む8名出席	通信教育部3号館
	20日 工学部校友会総会	鈴木会長出席	日本大学工学部62号館
	20日 埼玉県支部総会		
	20日 愛知県支部総会	藤田支部長含む4名出席	名鉄グランドホテル
	21日 栃木県支部総会	高松支部長含む11名出席	ホテル丸沼
	21日 熊本県支部総会	荒木支部長・来賓1名含む13名出席	熊本市 番屋
	29日 広島県支部総会	谷川支部長・来賓3名含む25名出席	メルパルク広島
5月 7日	秋田県支部総会	佐藤支部長含む8名出席	秋田市
	10日 法学部校友会総会	鈴木会長出席	アルカディア市ヶ谷私学会館
	12日 香川県支部総会	高橋支部長含む9名出席	高松市 サンボート高松
	25日 第1回三役会	鈴木会長はじめ21名出席	日本大学桜門会館
	25日 第48回定期総会・懇親会	来賓16名、教職員27名、校友等85名出席	日本大学桜門会館
	25日 校友会東京都第四支部総会	山本副会長出席	中野サンプラザ
	25日 北海道上川支部総会	加藤支部長含む7名出席	プレミアムホテル旭川
	28日 経済学部校友会総会	鈴木会長出席	ホテル椿山荘東京
6月 8日	商学部校友会総会	鈴木会長出席	ハイアットリージェンシー東京
	8日 青森県支部総会	奥野支部長含む10名出席	はねやホテル
	8日 佐賀県支部総会	松尾支部長含む15名出席	伊万里市 山平
	9日 千葉県支部総会	行木支部長・来賓1名含む19名出席	ホテルポートプラザちば
	15日 生産工学部校友会総会	鈴木会長出席	市川グランドホテル
	15日 校友会東京都第七支部総会	師田副会長出席	八王子エルシィ
	16日 松戸歯学部同窓会総会	鈴木副会長(幹事長)出席	日本大学桜門会館
	16日 岡山県支部総会	安部支部長含む6名出席	岡山後楽園
	20日 校友会東京都第六支部総会	鈴木会長出席	アンフェリシオン亀戸
	21日 第2回常任役員会	鈴木会長はじめ14名出席	通信教育部1号館
	22日 薬学部校友会総会	鈴木会長出席	日本大学桜門会館
	28日 理工学部校友会総会	鈴木会長出席	東京ガーデンパレス
	29日 文理学部校友会総会	鈴木会長出席	日本大学文理学部3号館
7月 1日	会報95号発行		
	6日 北海道石狩支部総会	作田支部長含む11名出席	札幌グランドホテル 黄鶴
	13日 生物資源科学部校友会総会	鈴木会長出席	日本大学生物資源科学部食堂棟
	13日 新潟県支部総会	入田支部長含む5名出席	糸魚川市 ホテル国富アネックス
	17日 校友会神奈川県支部総会	鈴木会長出席	ローズホテル横浜
	20日 富山県支部総会	古岡支部長含む9名出席	富山駅前 魚民
	22日 通信教育部長就任歓迎会	川又通信教育部長・鈴木会長含む5名出席	東京都新宿区 四ッ谷れば屋
	27日 国際関係学部校友会総会	鈴木会長出席	みしまプラザホテル
8月 3日	鹿児島県支部総会	古市支部長含む8名出席	鹿児島市勤労者交流センター
	25日 北海道後志支部総会	奈良支部長含む6名出席	余市町 すし処みどりや
	31日 中国ブロック総会(山口県支部)	川又通信教育部長・鈴木会長含む19名出席	山口市 山口グランドホテル
9月 7日	愛媛県支部総会	山崎支部長含む5名出席	松山市 えひめ共済会館
	7日 四国ブロック総会(愛媛県支部)	鎌子副会長・土井ブロック長含む10名出席	松山市 えひめ共済会館
	6日 校友会東京都第五支部総会	鈴木会長出席	ホテルベルクラシック東京
	10日 通信教育部前事務局長等定年退職送別会	西野前事務局長・若林庶務課長含む4名出席	東京都新宿区 四ッ谷れば屋
	12日 高知県支部総会	水田支部長含む2名出席	高知市 高知会館
	14日 東海ブロック総会(岐阜県支部)	脇岡副会長・大形ブロック長含む8名出席	岐阜市文化産業交流センター

日本大学通信教育部校友会  
令和元年度 事業経過報告

第2号議案

9月	20日	第3回常任役員会	鈴木会長はじめ12名出席	通信教育部3号館
	28日	長野県支部総会	原田支部長含む8名出席	山ノ内町 ホテル椿野
	28日	北信越ブロック総会(長野県支部)	金子副会長・館ブロック長等出席	山ノ内町 ホテル椿野
	28日	静岡県支部総会	後藤支部長含む10名出席	アクトシティ浜松
	28日	大阪府支部総会	矢田支部長・来賓3名含む16名出席	桂 大阪マルビル店
10月	5日	東北ブロック総会(福島県支部)	鎌子副会長・矢吹支部長等出席	田村市
	6日	長崎県支部総会	三浦支部長含む5名出席	セントヒル長崎
	5日	三重県支部総会	大形支部長・来賓1名含む4名出席	伊勢市福祉健康センター
	19日	9月卒業学位記伝達式	師田副会長出席	
	26日	校友会千葉県支部総会	鈴木会長出席	京成ホテルミラマーレ
	26日	山形県支部総会	大塚支部長含む11名出席	東京第一ホテル米沢
11月	3日	ホームカミングデー	川又通信教育部長・瀬川事務局長含む26名出席	日本大学桜門会館
	10日	近畿ブロック総会(奈良県支部)	瀬川通信教育部事務局長・鈴木会長含む28名出席	奈良市 志賀直哉旧居
	11日	徳島県支部総会	土井支部長含む6名出席	徳島市 阿波観光ホテル
	15日	第4回常任役員会	鈴木会長・オブザーバー2名含む11名出席	通信教育部3号館
	17日	関東ブロック総会(栃木県支部)	山本副会長・金子ブロック長含む28名出席	大江戸温泉物語 日光霧降
	27日	九州ブロック総会(沖縄県支部)	鈴木会長・松尾ブロック長含む19名出席	那覇市 沖縄ホテル
12月	1日	岩手県支部総会	櫻庭支部長含む9名出席	盛岡市 橋本屋支店
	7日	山口県支部総会	佐伯支部長含む8名出席	山口市 山口県婦人教育文化会館
令和2年				
1月	1日	会報96号発行		
	5日	医学部同窓会新年交歓会	師田副会長出席	東京會館
	8日	広島県支部新年会	谷川支部長含む8名出席	二葉公民館
	10日	第5回常任役員会	鈴木会長・オブザーバー2名含む15名出席	通信教育部1号館
	14日	佐賀県支部新年会	松尾支部長含む12名出席	武雄市 京都屋
	18日	第2回三役会	鈴木会長はじめ20名出席	日本大学桜門会館
	18日	通信教育部校友会新年会	来賓12名、教職員27名、校友等54名出席	日本大学桜門会館
	18日	芸術学部校友会新年初顔合せ会	(※本会の新年会と日程が重なるため欠席)	ホテルメトロポリタン池袋
	19日	埼玉県支部新年会		
	19日	熊本県支部新年会	荒木支部長含む12名出席	熊本市 番屋
	25日	宮崎県支部総会	青木支部長含む3名出席	宮崎観光ホテル
	26日	歯学部同窓会新年会	鈴木会長出席	ホテルオークラ東京
2月	1日	北海道石狩支部新年会	作田支部長含む12名出席	ANAホリデイインホテル ヴェルデ
	20日	校友会東京都第六支部賀詞交歓懇親会	鈴木会長出席	亀戸アンフェリション
	22日	富山県支部新年会	古岡支部長含む8名出席	富山駅 八兆屋
	26日	校友会東京都第五支部新春のつどい	(※新型コロナウイルスのため中止)	ホテルベルクラシック東京
	29日	役員選考委員会	(※新型コロナウイルスのため中止)	(※郵送による書面選考に代える)
3月	13日	第6回常任役員会	(※新型コロナウイルスのため中止)	
	15日	兵庫県支部総会	(※新型コロナウイルスのため中止)	
	18日	通信教育部への寄付金贈呈式	川又通信教育部長・鈴木会長等出席	通信教育部3号館
	28日	通信教育部学位伝達式	(※新型コロナウイルスのため出席取り止め)	
	29日			

日本大学通信教育部校友会

令和元年度 収支決算書 (第49期)

【一般会計】  
収入の部

自平成31年4月1日  
至令和2年3月31日

(単位:円)

科目	1年度予算(A)	1年度決算(B)	差異(A-B)	備考
前期より繰越	2,043,079	2,043,079	0	
会費収入	10,380,000	9,808,000	572,000	
準会員還付金	7,800,000	7,510,000	290,000	準会員7036名(学部6877名、大学院159名)
正会員還付金	480,000	366,000	114,000	正会員122名分
役員年会費	1,200,000	1,094,000	106,000	会費納入101名分
総会・新年会収入	800,000	758,000	42,000	総会会費82名分、新年会会費55名分
寄付金収入	100,000	80,000	20,000	三役会・総会・新年会寄付金
雑収入	3,902,000	3,487,745	414,255	
会報広告収入	600,000	470,000	130,000	会報95、96号の会報広告料
受取利息収入	2,000	21	1,979	郵便貯金・三井住友銀行・定期預金
その他の収入	3,300,000	3,017,724	282,276	総会、新年会お祝い金(日本大学他13学部)、ホームシングデー補助
積立金より繰入	0	0	0	
合計	16,325,079	15,338,824	986,255	

支出の部

科目	1年度予算(A)	1年度決算(B)	差異(A-B)	備考
事業費支出	7,340,000	5,918,238	1,421,762	
総会・新年会費	1,800,000	1,365,010	434,990	会場費、懇親会費、来賓お土産代、記念品代他
ブロック補助金	300,000	277,160	22,840	8ブロック分(1ブロック×3万円)、隣接招待者交通費
支部総会補助金	1,200,000	1,040,000	160,000	35支部補助金、(1支部×3万円)※H29年度分は2万
会報発行費	1,490,000	1,354,842	135,158	会報印刷代、発送費(年2回)、会報発送補助費(支部へ)
準会員支援費	2,500,000	1,866,400	633,600	卒業記念品代、過去同印刷費、校友会会長賞記念品代
特別委員会活動費	50,000	14,826	35,174	箱根駅伝特別委員会の会費、応援グッズ運搬費他
運営費支出	6,620,000	6,210,993	409,007	
人件費	2,500,000	2,267,250	232,750	事務職員人件費、アルバイト代
消耗品費	50,000	47,474	2,526	事務消耗品
通信費	400,000	362,808	37,192	封筒ハガキ代、郵送費、宅配費、電話代
旅費交通費	1,800,000	1,903,150	△ 103,150	総会・三役会・ブロック総会、役員会等出席者交通費他
印刷費	50,000	103,260	△ 53,260	封筒・ハガキ印刷代、トナー代、名刺印刷費
会議費	250,000	227,279	22,721	常任役員会・三役会・事務打ち合わせ他
懇親会費	150,000	106,106	43,894	大学との懇親会費等
慶弔・渉外費	600,000	510,984	89,016	香典代、他学部校友会お祝い金、感謝状筆耕代、記念品他
総務部活動費		11,970		総務部活動費
組織部活動費		0		組織部活動費
広報部活動費	100,000	0	38,030	広報部活動費
財務部活動費		0		財務部活動費
渉外部活動費		50,000		渉外部活動費
雑費	50,000	32,552	17,448	振込手数料他
本部校友会分担金	470,000	470,000	0	本部校友会に納金(令和元年度分)
130周年記念事業募金	100,000	100,000	0	日本大学130周年記念事業寄付金
ホームページ費	100,000	18,160	81,840	ホームページ維持・管理費
予備費	100,000	68,997	31,003	会計事務用PC・会計ソフト代
校友会創立50周年準備金へ繰入	0	0	0	定期預金に積立
小計	14,060,000	12,198,228	1,861,772	
次期繰越	2,265,079	3,140,596	△ 875,517	千普通420,192円、三井住友銀行2,556,909円、振替口座996円、現金162,499円
合計	16,325,079	15,338,824	986,255	

【特別会計】

項目	金額	摘要
第30期繰入積立金	1,000,000	ゆうちょ銀行三年定期貯金
創立50周年積立金	200,000	第38期創立50周年準備金 ゆうちょ銀行一年定期貯金
創立50周年積立金	400,000	第37期創立50周年準備金 ゆうちょ銀行一年定期貯金
合計	1,600,000	

# 監査報告書

日本大学通信教育部校友会監査(以下監査人という)は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第49期における日本大学通信教育部校友会本部(以下本部という)執行役の職務の執行に関して、各監査人が確認した結果に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

## 1、監査の方法及びその内容

監査人は、監査の要領に従い、本部執行役等から、第49期の事業計画等に対する執行状況を確認し、これらの事業に対しての決裁書類を含めた議事録等の閲覧を行ないました。

さらに、会計帳簿における現金残高及び特別会計に計上されている積立金を含む預貯金残高は、それぞれ、現金在高及び金融機関が発行する預貯金残高証明書をもって確認しました。

収支決算書における一般会計の科目については、日本大学通信教育部校友会会則及び細則等(以下会則及び細則等という)による収支が証憑書類によって適正に処理されているかを精査しました。

## 2、監査の結果

### (1) 会務の監査報告

令和元年度事業経過報告及びその他の職務執行事項は、会則及び細則等に基づいて適正に執行されたものと認めます。

### (2) 会計の監査結果

収支決算書は、本部の財産及び収支状況が適正に表示されているものと認めます。

令和2年5月23日

日本大学通信教育部校友会

監査 川熊長子

監査 高垣むつ子



監査 河田幸男

日本大学通信教育部校友会 役員候補者名簿

役員選考委員会における書面選考の結果を受けまして、候補者本人からの承諾の有無なども勘案し、次期（本総会より3年）の役員候補者について、以下の通りご報告します。

会 長	鈴木 勝	
副会長	◎ 肱岡 堅一	(総務部)
	◎ 鈴木 孝司	(渉外部)
	○ 山本 良吉	
	○ 師田袈裟茂	(広報部)
	○ 北村 周之	(幹事長・事務局長)
	◎ 吉澤 幸夫	(財務部・会計)
	鎌子 健	(組織部)
	吉村 益吉	(西日本地区)
	佐藤 朋夫	(東北ブロック長)
	舘 聖	(北信越ブロック長)
	金子 栄輔	(関東ブロック長)
	藤澤 隆一	(東海ブロック長)
	立花 初代	(近畿ブロック長)
	谷川 正徳	(中国ブロック長)
	土井 榮次	(四国ブロック長)
	古市 重喜	(九州ブロック長)
会 計	江崎 泰元	
監 査	川熊 長子	
	高垣 むつ子	
	大西 由花	

◎=日本大学校友会常任委員

○=日本大学校友会委員

〈付記〉上記以外の役員（副幹事長・常任幹事・幹事）の選出については、まだ候補者の推薦のない支部が一部あるため、追って別途ご報告します。なお、当該役員の選出に関しては、会長に一任の旨、ご同意のほどお願いいたします。

日本大学通信教育部校友会  
令和2年度 事業計画(案)

第5号議案

年月	日	本部行事	日	ブロック行事	日	支部行事
令和2年						
4月	4日	入学式			29日	広島県支部総会(中止)
	17日	第1回常任役員会(中止)				熊本県支部総会
	18日	工学部校友会総会(懇親会中止)				
5月	15日	法学部校友会総会(懇親会中止)			19日	秋田県支部総会(延期)
	19日	監査			23日	北海道上川支部総会
	23日	第1回三役会(紙上会議)			30日	奈良県支部総会(中止)
	23日	第49回定期総会(紙上会議)				埼玉県支部総会(書面決議)
6月	13日	商学部校友会総会(中止)			7日	栃木県支部総会
	20日	生産工学部校友会総会(中止)			上旬	青森県支部総会
	21日	松戸歯学部同窓会総会(延期)			14日	香川県支部総会
	予定	第2回常任役員会			21日	岡山県支部総会
7月	1日	会報97号発行(延期)			上旬	北海道石狩支部総会
					中旬	新潟県支部総会
					予定	富山県支部総会
8月					22日	北海道後志支部総会
					22日	宮崎県支部総会
9月	予定	第3回常任役員会			6日	愛媛県支部総会
					12日	高知県支部総会
10月	17日	9月卒業学位記伝達式	3日	東海ブロック総会(静岡県)	3日	静岡県支部総会
			3日	近畿ブロック総会(大阪府)	3日	三重県支部総会
			10日	九州ブロック総会(長崎県)		
			11日	北信越ブロック総会(新潟県)※中止		
			25日	四国ブロック総会(高知県)		
11月	予定	第4回常任役員会			予定	徳島県支部総会
12月					5日	山口県支部総会
令和3年						
1月	1日	会報98号発行	9日	近畿ブロック総会(大阪府)※予備日	下旬	北海道石狩支部新年会
	予定	第5回常任役員会	23日	近畿ブロック総会(大阪府)※予備日	予定	埼玉県支部新年会
	予定	第2回三役会			予定	熊本県支部新年会
	予定	通信教育部校友会新年会				
2月						
3月	予定	第6回常任役員会			21日	大分県支部総会
	25日	卒業式・学位記伝達式			予定	兵庫県支部総会
					予定	島根県支部総会
			未定	東北ブロック総会(山形県)	未定	岩手県支部総会
			未定	関東ブロック総会	未定	山形県支部総会
			未定	中国ブロック総会	未定	長野県支部総会
					未定	鹿児島県支部総会

日本大学通信教育部校友会

【案】(2020.5.23)

令和二年度収支予算(第50期)

自令和2年4月1日  
至令和3年3月31日

【一般会計】  
収入の部

(単位:円)

科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減	備考
会費収入	10,120,000	10,380,000	△ 260,000	
準会員還付金	7,600,000	7,800,000	△ 200,000	準会員総数7,120名(学部)+160名(大学院3,000円/1人)
正会員還付金	420,000	480,000	△ 60,000	正会員(140名) 3,000円/1人
役員年会費	1,200,000	1,200,000	0	校友会役員年会費
総会・新年会収入	800,000	800,000	0	総会当日懇親会費・新年会会費
寄付金収入	100,000	100,000	0	会報支援費他
雑収入	3,902,000	3,902,000	0	
会報広告収入	600,000	600,000	0	会報第97号・第98号の広告料
受取利息収入	2,000	2,000	0	ゆうちょ銀行・三井住友銀行
その他の収入	3,300,000	3,300,000	0	総会祝金・新年会お祝い金、本部校友会補助、過去問売上(R1)他
積立金より繰入	0	0	0	
小計	14,022,000	14,282,000	△ 260,000	
前年度繰越金	3,140,596	2,043,079	1,097,517	
合計	17,162,596	16,325,079	837,517	

支出の部

科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減	備考
事業費支出	7,330,000	7,340,000	△ 10,000	
総会・新年会費	1,700,000	1,800,000	△ 100,000	会場・懇親会費、来賓土産・新年会・ホームカミングデー他
ブロック補助金	300,000	300,000	0	8ブロック(3万×8ブロック)、隣接ブロック招待者交通費
支部補助金	1,200,000	1,200,000	0	59支部のうち40支部分
会報発行費	1,490,000	1,490,000	0	会報印刷代・発送費(年2回)・発送補助費(各支部へ)
準会員支援費	2,600,000	2,500,000	100,000	卒業記念品、準会員へ会報印刷・発送、校友会長賞、過去問印刷
特別委員会活動費	40,000	50,000	△ 10,000	箱根駅伝特別委員・その他特別委員の会費他
運営費支出	6,370,000	6,620,000	△ 250,000	
人件費	2,500,000	2,500,000	0	事務職員人件費・アルバイト代
消耗品費	50,000	50,000	0	事務消耗品
通信費	350,000	400,000	△ 50,000	電話代・切手はがき代・郵送費・宅配費
旅費交通費	1,800,000	1,800,000	△ 200,000	総会・ブロック会・三役会等に規定の旅費補助
印刷費	70,000	50,000	20,000	封筒・はがき印刷代・トナー代・名刺印刷他
会議費	230,000	250,000	△ 20,000	常任役員会・三役会・事務打ち合わせ他
懇親会費	150,000	150,000	0	大学との懇談会、新旧事務局長歓送迎会他費用
慶弔・渉外費	600,000	600,000	0	慶弔費・他学部校友会等お祝い金
総務部活動費				
組織部活動費				
広報部活動費	100,000	100,000	0	各部活動費
財務部活動費				
渉外部活動費				
雑費	50,000	50,000	0	振込手数料他
本部校友会負担金	470,000	470,000	0	本部校友会 令和2年度負担金30万円 本部役員会費17万円
ホームページ費	100,000	100,000	0	ホームページ・独自ドメイン・レンタルサーバ
130周年記念事業募金	100,000	100,000	0	日本大学130周年記念募金(平成24年度～平成34年度(令和4年度))
予備費	100,000	100,000	0	その他
校友会創立50周年積立金	100,000	0	100,000	校友会50周年記念事業用
小計	13,900,000	14,060,000	△ 160,000	
次期繰越	3,262,596	2,265,079	997,517	次年度当初本部運営費
合計	17,162,596	16,325,079	837,517	

【特別会計】

項目	金額		摘要
積立金	第30期繰入積立金	1,000,000	ゆうちょ銀行定額貯金 令和2年9月満期
積立金	創立50周年積立金	600,000	第37,38期創立50周年準備金 令和2年4月満期
積立金	創立50周年積立金	100,000	創立50周年準備金 令和2年度予算支出より組み入れ
合計	1,700,000		



大学院総合社会情報研究科（通信制大学院）の通信教育部への編入に伴う  
会則改正（案）

〈付記〉本議案については、令和2年1月18日（土）開催の令和元年度第2回三役会において審議済みです。

会則

	現行	改正案
第4条	<p>本会は会員相互の親睦・向上を図り、併せて日本大学ならびに日本大学通信教育部の振興に寄与することを目的とする。</p>	<p>本会は会員相互の親睦・向上を図り、併せて日本大学ならびに日本大学通信教育部・<u>大学院総合社会情報研究科</u>の振興に寄与することを目的とする。</p>
第5条	<p>本会はその目的達成のために次の事業を行なう。</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>5. 日本大学ならびに日本大学通信教育部の事業後援</p> <p style="text-align: center;">（後略）</p>	<p>本会はその目的達成のために次の事業を行なう。</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>5. 日本大学ならびに日本大学通信教育部・<u>大学院総合社会情報研究科</u>の事業後援</p> <p style="text-align: center;">（後略）</p>
第6条	<p>本会の会員は、次の資格を有する者をもって構成する。</p> <p>1. 正会員 日本大学通信教育部の卒業生と終了者中の希望者</p> <p>2. 準会員 日本大学通信教育部在学生会で、別に定める年会費納入者</p> <p>3. 賛助会員 通信教育部の教職員及び会員二名以上の推薦によって三役会の承認を得た者。</p>	<p>本会の会員は、次の資格を有する者をもって構成する。</p> <p>1. 正会員</p> <p>(1) 日本大学通信教育部の卒業生と終了者中の希望者</p> <p><u>(2) 日本大学大学院総合社会情報研究科の修了生と終了者中の希望者</u></p> <p>2. 準会員</p> <p>(1) 日本大学通信教育部在学生会で、別に定める年会費納入者</p> <p><u>(2) 日本大学大学院総合社会情報研究科在学生会で、別に定める年会費納入者</u></p> <p>3. 賛助会員 通信教育部・<u>大学院総合社会情報研究科</u>の教職員及び会員二名以上の推薦によって三役会の承認を得た者</p>

※「本会の会則の改廃は、総会の議を経てこれを決する。」（会則第19条抜粋）